

被災者に木のぬくもり贈る

高知県馬路村の上治堂司村長が11日、七ヶ浜町役場を訪れ、「被災者に木の香りとぬくもりを味わってほしい」とスギの間伐材を使ったコースター作製キットなど木工品600セットを渡辺善夫町長に手渡した。

山間地にある馬路村は木工が盛んで、キットは第三セクター「エコアス馬路村」

が製造。間伐材を厚さ0.3ミリのスライスした材料が20枚ほど入っており、格子状に編んで四角形のコースターを作る。1時間ほどの手作業で完成するという。

キットの贈呈は、仮設住宅などに暮らす住民に、コースター作りの共同作業を促し、引きこもりや孤独死

を防止するのが狙い。このほか、間伐材を使ったうちわと備長炭入りの置物もそれぞれ600個ずつ贈った。

渡辺町長から被災や復興状況の説明を受け、一層の被災地支援の必要性を実感したという上治村長は「森の癒やしを味わってもらうなど、村の特徴を生かした支援を今後も継続的に続けていきたい」と語った。

高知・馬路村 七ヶ浜町へ木工品セット



木工品を手にする上治村長(右)と渡辺町長